



陰陽五行論塾Contents

六十干支詳細 (21~40)

2 1 甲申 ◆ 性格 ◆

性格は、いろいろなことに手を出したくなる人です。

趣味も多く、好奇心も強い人になります。

そのため、様々なことに手を出し、又、一通りそれが終わる頃になると、更に次のものに手を出すようになるので、一つのことが完全にマスター出来なくなります。

しかし、それだけじっとしていることが嫌いで、天性にエネルギーギッシュな人となります。

また、例えまとまることがなくとも、常に動いていないと自分が却って駄目になるような人です。

一つ一つの事を完了してから、次に手を出すことを意識すると改良ができます。

2 1 甲申 ◇ 生き方 ◇

人生で成功するかしないかは、多芸多才で一芸に秀でることがない要素を、如何に一つのことにもまとめあげることが出来るかにかかっています。

つまり、一業に専念したり、一芸に専念することで晩年が安定してきます。

もし、多方面に渡って活躍すると、一時期の小成は収めるでしょうが、あくまでも一時期で終わってしまいます。

この干支は、一つのことを如何に長く続けて行くかにかかっています。

運の発展は、十年、二十年の長期に渡る継続にかかっています。

2 2 乙酉 ◆ 性格 ◆

性格は、行動しながら考える人になります。

机にかじりついて勉強するような人にはならず、日常生活の中とか、自分が動いたことによって得た物事を自分の知識として吸収していきます。体験学習型となります。

身体の方もじっとしているよりは動いている方が良く、年中忙しい方が快調になります。

しかし、一途な性格から裏表のない正直な人となりますが、進み出すと戻ることを知らない人にもなりますので、ある面では周りの人まで巻き込んで一つの世界に引っ張ってしまってししまうことにもなるでしょう。

明るい性格から人に嫌われることは少ないのですが、周りの人に対する良いこと、悪いことを含めて影響力の強い人です。

2 2 乙酉 ◇ 生き方 ◇

生き方は、庶民的で気張らない生き方になります。

この干支を持つ人が、もし庶民的な両親から生まれていれば自分の生き方に矛盾がなく、運の開発も早くなります。

しかし上流社会の出であったり、生活に困窮しているような家庭に生まれますと、

庶民性が出ることなく、なかなか自己の運勢が開発されていかなくなります。

もしそのようになってしまいますと、世の中のはみ出しっ子的な生き方になってしまうでしょう。

2 3 丙戌 ◆ 性格 ◆

性格は、社交性の豊かな、明るく協調性に富んだ人になります。
誰からも愛され、嫌われることなく何時も多く仲間と一緒に過ごすことになるでしょう。

しかし、明るさの中に孤独を抱えてしまいます。
それだけに、孤独になって何かをしたりすることを極端に嫌います。

明るく輝いていたいという欲求が強く出るからです。
当然、一人になって研究したり、勉強したり、仕事をしたりすることは性格的にあまり望みませんし、また、本人も耐え難いものとなります。

人間関係において社交性があっても、上下関係におけるお付き合いは弱点があり、時には対人関係において失敗をする時があるでしょう。

2 3 丙戌 ◇ 生き方 ◇

生き方は、人に好かれる人間性、誰からも愛される質等を活かして、商人のような職業を選ぶのも良いでしょう。

また、人間相手の商売だったら大体合いますので、政治家、或は芸能人のような人気稼業でも良いでしょう。

ただし、一人でものを考えるだとか、研究する生き方は最も合いませんし、不得意な分野となってしまいます。

24 丁亥 ◆ 性格 ◆

性格は、感性の豊かさがあると同時に、不安定に揺れ動く心を持っています。

したがって、気分屋さんとなり、しょっちゅう言うことが変化していきます。

また、人から干渉されることを嫌い、静かな人生を送りたいとの思いもありますが、心の中の葛藤は激しく、孤独な人となります。

当然のこととして、喜怒哀楽がかなり激しく表面に出てきまして、多くの人の中よりは一人でいることを好むようになっていきます。

俗世間の価値観に合わせることに苦手だったり、現実的な力量発揮が難しいので、上手くその場その場に合わせしていく意識を持つことで改良をする必要があります。

24 丁亥 ◇ 生き方 ◇

生き方は、一人一人に奉仕するような生き方となります。

人々に楽しみを与えながら自分の利益を得たり、人々の健康に気を使いながら生活していくことが良いでしょう。

また、宗教家となって人々を救うことも良く、靈感能力も所有しますので、その世界で活躍していくことも良いでしょう。

例えば、体操教室・ヨガ・エアロビクス等の仕事にも向きます。

ただし、体力に難点がありますので、自分が激しく動くことのない指導が良いでしょう。

25 戊子 ◆ 性格 ◆

性格は、激しい感情の持ち主となり、周りの人に理解され難い人となります。

また、気分屋さんの質もあり、今言ったことと、さっき言ったことではもう違うということがあります。

しかし、財運はかなり良く、どんなに貧しい家系に生まれたとしても、年齢を重ねていくと、家系を盛り立てていくような質となります。

仕事に関しては、器用に何でも携わっていきます。

そして財産をかなり身に付けるようになっていくでしょう。

2 5 戊子 ◇ 生き方 ◇

生き方は、自立運となっていき、親の後を継ぐことになっても、自分の代で親のものを何倍にも増やしていく力量があります。

将来に向かって生きていくことには逞しさがありますが、現実の対応力には脆さも同時に抱えながらの生き方となります。

しかし、常に独立独歩の気概だけは失わず、意志の強さでもって生きていくでしょう。

この意志の強さを子供の時から育むには、どんなに小さくとも一人前の人間として扱っていく育て方をすることです。

また、元来持ち合わせている激しい感情を、自分を磨くことに向けることで、大成していきます。

26 己丑 ◆ 性格 ◆

性格は、穏やかで静かな人となります。

また、温和な人柄から、日々の生活の安定を願います。

毎日を自然体で力むことなく過ごし、現実的な利益中心の世界とか、競争の激しい世界は嫌います。当然会社に入っても猛烈サラリーマンにはならず、出世コースから外れてしまうこともあるでしょう。

しかし、金銭欲・名誉欲が強い性格ではなく、平穏な生活を望む人ですから、苦にはなりません。焦らず、急がず、のんびりと我が道を行く人となります。

ある面では平凡な人生に対する執着心が強く、長生きの人生を粘り強く送ることにもなります。

26 己丑 ◇ 生き方 ◇

生き方は、性格と同様粘り強く、堅実な生き方となり、
確実に一步一步の前進となります。

人生を決して後戻りすることなく着実に前進していきます
ので、晩年には(長命)見事な財が残ることもあるでしょう。

焦らず急がずの人生であれば、見事な幸福が築かれます。

しかし、急ぎすぎてしまったり、結論を早く求めすぎて
しまいますと、運が崩れていきます。

他者からの力量を謙虚に借りて、焦らずコツコツと積み重ね
の人生を意識することで、晩年期は大きな飛躍を遂げていき
ます。

27 庚寅 ◆ 性格 ◆

性格は、理想を追求したくなり、現実離れの人となります。

非常にセンスが良いのですが、それを現実適応することが苦手で、自分の夢を求め、夢の世界に進んでいったり、理想を築き上げようとしていきます。

心の焦りから、どうしても無理が生まれてきます。

そこにこの人の悩み・苦しみも生まれてきます。

求めても求められない、進んでも掴めない自分の夢・理想、そこで更に理想の世界を求め直し、更に追い付けない状態が生まれてきます。

そこに、この干支を持つ人の夢と現実の葛藤が始まるのです。

27 庚寅 ◇ 生き方 ◇

生き方は、夢の世界、理想の世界に進みやすくなり、現実とのギャップの多い人になりますので、生きる上でのある程度のバランス感覚が必要となります。

先ず人間とは理想では生きられないのだ、あくまでも現実の世界があってそれから理想の世界があるのだという順序を良く考え、現実立脚しているその場を良く見つめてから始めて動くことが良いでしょう。

現実の状況と自分の考える夢の世界が余りにもかけ離れていれば、当然夢を切り捨てなければなりません。

もし、どうしても切り捨てられないで夢の世界に進んでしまうと、人生の後半が後悔の連続となったり、空虚な老後を迎えてしまいます。

28 辛卯 ◆ 性格 ◆

性格は、受身的で大人しい人です。

心が穏やかで愛情に溢れている人になります。

また、人間的な魅力もあり、人を惹きつけてしまうので、周りの人が何となく放っておかないこともあり、自分自身も人の面倒を損得抜きでお世話をするので、人からも慕われることになります。

しかし、ある面ではお人好しなところがあり、相手に必要以上に尽くしてみたり、限度を超えてしまうことがあり、それも深く考えない善意の行動から発するものとなります。

相手にしてみれば時には傷付くこともあるでしょう。

相手の立場になってお世話をしないと、それが原因でトラブルにもなります。

28 辛卯 ◇ 生き方 ◇

行動は品性を兼ね備えていますが、庶民感覚の行動とか庶民レベルの動きになっていきます。

まともに考えれば理想的な動きであり、人間性の良い人となりで、それなりに行動していきますが、ここ一番という時にやや力量不足の行動となってしまう、大きなチャンスを逃すこともあるでしょう。

しかし、男性では物足りない平穏な生き方であっても、女性であれば総体的に幸運となるでしょう。

29 壬辰 ◆ 性格 ◆

性格は、知的な質が強く、自分の力量で周りの人の注目を集めたいと願いますが、現実のドロドロした世界からは一步後退し、離れたところから眺めていたいとの意識もあります。

このような複雑な精神構造の持ち主となるので、心の中では割り切れない部分が多くなります。

しかし芯の強いところもあり、一度決めたことは、あくまでも最後まで貫き通す心情となります。

年を取っていくと、世の中の表から一步後退していく心が勝り、物質的なものから精神的なものに興味が移っていきます。

一般的に頭の良い人が多く、学業の世界では普通に勉強していれば苦しみことなく上位の成績が得られます。

また、芸術性もあり、特にものを描くことが得意となっていくます。

29 壬辰 ◇ 生き方 ◇

生き方は、物事の最後を受け持つような生き方となりやすく、家系の跡取りとして生まれることは当然ですが、女性でも男性でも長く続いた家系の最後の代を受け持ちやすくなります。

ただし、女性の場合は裕福な家庭に生まれやすく、成長すると共に家庭が波乱となったり、没落していくことが多く、男性の場合は貧しい家に生まれることが多いのですが、成長していく過程で親の頑張り等によって、或は本人の頑張りによって家系を盛り返していくような生き方となります。

一般的には男女問わず親の運勢が隆盛であったり、家が豊かな時に生まれると、本人の運は上がらず、成人以降に普通の人か、それ以下の不運な人になっていきます。

30 癸巳 ◆ 性格 ◆

性格は、心の本質を人に見せることがなく、表面は明るく振る舞うような質となります。

そのため、一見すると人付き合いの上手い人となりますが、内面はかなり考えながら付き合うようなところがあります。

表面には全く付き合い上の損得は見せませんが、心の中では十分に計算をしながら動く人となります。

また、執念深いところも心の中に存在しているので、人から侮辱を受けると一生忘れなかったり、一度人を疑い出すと必要以上に疑ってかかるようなところがあります。

そのように心の中身と現実に見られる態度とは相反するものを持っていながら、要領よく世渡りをしていきます。

30 癸巳 ◇ 生き方 ◇

生き方は、自分の心を見せないで上手く世渡りをしていくことにあるので、対人関係で築いていくような仕事が良いでしょう。

物事の仲介業、営業マン、接客業、ブローカー等が向きます。

しかし、諦めが早いところが生き方の欠点となります。

したがって、一つのことを始めたら如何にそれを継続していくか、また逆に考えれば、如何に今の仕事で利益が上がるか、または、次の仕事に進み転職なり転身をして更に利益を掴むような生き方のどちらかになります。が、転身する場合は、今の仕事の見極めを如何に早くつけるかにかかっています。

3 1 甲午 ◆ 性格 ◆

性格は、現実的なところがありながら実際の力量が強い方ではありません。

純粹で人を疑うことを知らないようなところもあり、現状の流れに乗っていくところから、優しい性格となって現れたり、お人好しな面が出てしまったりします。

意外と神経は細かく、陰に籠るようなところもあり、運勢上現実的な強運となって出なくなります。

性格的に優しくおとなしいことから、積極的な質とはなりませんが、思い遣りの心には溢れ、結果的に奉仕的な気質となります。

3 1 甲午 ◇ 生き方 ◇

生き方は、自己を捨てて人を助けていくような生き方が良いでしょう。

そのように生きると人徳が生まれてきて、周りの人の人望を大いに集めたり慕われる存在となっていくでしょう。

但し、家庭運が薄くなり、人生の途中で配偶者と別れたり、時には子供運が薄くなったりします。

また、奉仕的に生き、人望を集めたとしても、常に心は孤独の状態になっていくでしょう。

自己の進む世界は、宗教や医学の世界において奉仕的に暮らすことが良いでしょう。

自我(自己欲求)を前面に出すと運氣は壊れ、自我を滅して他者に尽くす生き方で、社会的に大いに活躍していきます。

3 2 乙未 ◆ 性格 ◆

性格的に特別に目立つところがある訳ではありませんが、何となく可愛がられる人となります。

感情的になりにくく、黙々と自分の目的、未来に向かって進んでいくようになります。

しかし、感情を余り出さずに人に嫌われることもなく過ごす性格が、人からは自分を殺しているように見えたり、小心な人物に見えたり、神経質な人に見られるかも知れません。

ただし、自分の目的にひたすら黙って進んでいても、世の中の常識を弁えているので、周りの人達に迷惑をかけず、嫌われる人にはなりません。

3 2 乙未 ◇ 生き方 ◇

生き方は、派手な生き方とはならず、堅実に世の中を渡っていくでしょう。

自分の眼で、現実を自分でしっかりと認識しているかどうかは別としても、確実に着実な、現実在即した動きをしていきます。

世の中の平均的な生き方、可もなく不可もない状態で過ごしていきます。

中庸を生きられる資質を持っているのです。

その資質が、男性ではやや物足りない人生に感じるかもしれませんが、波乱の少ない浮き沈みのない安定した人生を送ります。

特に女性にはとても有利な干支で、平穏で幸せな生き方になるでしょう。

3 3 丙申 ◆ 性格 ◆

性格は、胸の中に複雑な思いがあっても、表面を上手く取り繕うことができます。

感性は相当に強く、空想や夢の世界をさ迷ったり、自分がその中で精神的に遊ぶことの得意な人となります。

現実的な思考力もありますが、現実に対応していく力量において弱さがあり、努力家ではありますが、どうしても空想や夢の世界に入り込んでしまうことが多いようです。

また、対人関係におきまして、直感力が良く働き、実際の状態を見ることなく、時には不必要なまでに人を信用してしまうこともあり、勘が外れた場合、時として人に裏切られることもあるでしょう。

精神的には相当に純粋な質となっていますので、文学・詩・絵等に才能が出るでしょう。

3 3 丙申 ◇ 生き方 ◇

生き方は、現実的な職業を選ぶよりは、精神的な職業範囲が良いようです。

もし精神的な職業を選んだ場合は、無から有を生み出すことの出来る本質が充分輝くことになるでしょう。

発想が既成概念では考えられないような物事を考えてみたり、この人独自の感性が生きますので、何か珍しいものが生まれてみたり、奇妙なものが生まれることもあります。それらのものを一つのアイデアとして商売に結びつけていくのも元手のかからないアイデア商法となって成功していくでしょう。

3 4 丁酉 ◆ 性格 ◆

性格的は、冒険心が強く、ある面では無鉄砲な質となります。
頭の回転も早く、物事の真実を見抜く力があるので、答を的確に出します。

繊細な神経を持ち、度胸もあり、実力知らずのところもあるので、人と争ってしまう事もあり、当然負けてしまう事も多いでしょう。

人情味も強く、人と争う時も、人情が絡んでのことが多いようです。

3 4 丁酉 ◇ 生き方 ◇

生き方は、人生において一途になりやすいため、自分の思い込みで行動することが多くなります。

そのため、相手を自分のペースにして動かそうとしますが、その通りになる人ばかりはいません。

しかし、もし自分の思い通りになってくれる人がいる時は、その人に対して出来る限りのことをしてあげます。

ただし、時には相手に嫌われ、とんでもない逆襲を受ける時があります。

そこで、この人の生き方は、良い友を得ることです。

また、自分の方も良き教養・知性を付ける生き方を意識する事です。

自分勝手な振る舞いを戒め、相手の立場に立って物事を考える心を持つ事で、元来の『瑠璃の燈光』としての輝きを放っていくのです。

3 5 戊戌 ◆ 性格 ◆

性格は、どっしりしていて何事に対しても動揺することが少ない人です。

ある面では頑固な質で動きがなかったり、用心深い質で動きがなかったり、自我が相当に強く見えるようになります。

基本的に孤独を好み、一つの事に集中し出すと、そのことをとことんまで追求していきます。

それだけに自分で『こうと決めたこと』に対する意志は固く、どんな困難・苦難に対しても立ち向かっていきます。

自分の決めたことをやり抜くことは素晴らしいのですが、成功する時と失敗する時の差が激しくなります。

また、自分の家族・家庭を思う気持ちが強く、一家の長としての役割を黙々と果たしていきます。

3 5 戊戌 ◇ 生き方 ◇

生き方は、小金に縁がありますので、商人のような生き方も向くでしょう。

また、人に嫌われることなく何となく人の気を引く人でもありますので、お客様商売の商店等の経営も良いでしょう。

人生で何のような時でも、何のようなチャンスでも、何らかの儲けに繋げていけるため、不動産・株・商品相場等を扱うことも良いでしょう。

何れに致しましても、信用を基にしてする商売で世の中に飛躍していきます。

3 6 己亥 ◆ 性格 ◆

時代の流れ、自分の立場を感じ取ることが強い人です。

世の中が平穏な時は不安定な人で、世の中が動乱になると安定していきます。

また安定的な職業に就くと人生が不安定となり、不安定な職業に就くと人生が安定していくのです。

自己中心的な心がありながら、そのような態度は表しません。

プライドも高く、自我も強い人ですが決して表面には出しません。

それだけに考えながら自分の質を外に出さない人になりますが、家庭縁が余り宜しくなく、特に配偶者との間がよろしくありません。

3 6 己亥 ◇ 生き方 ◇

生き方は、変転変化が付きまとうため、安定を求めてさ迷うような生き方となります。

安定を求めながらも、一か八かの大勝負に出る度胸も兼ね備えています。

しかし自分の家庭・職業・立場等に『こだわり』をなくし、自由に生きることが運を伸ばす生き方となります。

孤独な環境から自分の運を伸ばし、常識に捉われることなく自分の生き方に信念を持って貫くと運勢が開花していきます。

37 庚子 ◆ 性格 ◆

性格は、心に落ち着きのない人で、物事に対して先走って考えるような質を有しています。

現実に足が付いていないので、常に先に先に進み過ぎてしまうような感覚になります。

それだけに先のことまで考えてしまい、要らぬ取り越し苦労が増えることになります。

ある面では現実から逃避するような心を作りますが、それは社会の表舞台に立つことを避けるような時であり、派手な環境より、ひっそりとしていられる環境に憧れを持つ人でもあります。

心に焦りがあり、行動に先走りたくても実際には行動力に欠け、何処か冷めた人生を送るようになります。

人生の傍観者的に冷静な態度になるでしょう。

37 庚子 ◇ 生き方 ◇

生き方は、元来保有している現実に対する知恵が、実際の行動に結び付くことはありません。

しかし知恵と行動力に優れたところがあるので、本人も何かしっくりいかない状態で人生を送りやすくなります。

そこで男女とも、結婚等で自分を制約するより前に、自由に動ける若い時に冒険をするとか行動を始めてしまうようなことが成功する秘訣にもなります。

もし、行動への要求をそのままにして人生を送ると、年を取った時に後悔が強くなります。

ただし、女性の場合はやや厄介な生き方になり、自分の運が伸びるようなことがあると、結婚運が薄くなってしまうということです。

もし年齢を積み重ねていても、自分の固定観念を手放し、自由な発想や思考をする意識をすることで飛躍していきます。

3 8 辛丑 ◆ 性格 ◆

性格は、品性が良くプライドも高いのですが、その内面があまり表面には現れません。

ものの捉え方、考え方は常識的であり、既成概念から大きく外れてしまうことがなく、それだけに堅実なものの考え方となっていくます。

また、聡明さも高く、自然に発せられるようなユーモアもあるので、自然と周囲を虜にしていくようになります。

別に力量がある訳でもなく温かみがある訳でもなく、計算して動いている性格ではなくても、何となく人々の運命に影響を与える存在となっていくます。

3 8 辛丑 ◇ 生き方 ◇

生き方は、常識的な思考の持ち主ですので、危険な人生を進むようなことはありません。

冒険的な人生を選んでしまった場合は、自分自身の運が崩れていくことになります。

あくまでも堅実に、出過ぎることなく、皆と一緒に足並みを揃えて進んでいく人生が安全です。

例え地味な人生であっても、人から見て退屈な人生と言われても、人生の最後が美となります。

典型的な晩年期運の人で、特に美しさを放ちながら豊かさへの階段を上っていくのです。

したがって、日常の一步一步の積み重ねを大切に過ごすことです。

39 壬寅 ◆ 性格 ◆

性格は、感性が強く、夢の世界に進みやすい人ですが、内面には強い闘争心も持ち合わせています。

しかし、表面にはそのようなところが現れず、平和な人物になるでしょう。

見掛けは平和でのんびりした質が強いのですが、自意識が強い人なので皆の中心になっていなくては満足出来ない状態となります。

ただし、見掛けはそのような素振りは少しも現さないため、先ず自意識が満足することがなく、そのために単独行動になりやすく、見掛けと違い、なかなかファイトのある熱血漢的な性格となっていくます。

39 壬寅 ◇ 生き方 ◇

生き方は、どんな困難に対しても独力で向かっていくようになります。

ただし、現実力量もあるのですが、その力が出過ぎてしまう時もあり、時に有り余った力がとんでもないことまで引き起こすようなことがあり、全てを破壊し尽くしてしまい、また一からやり直しの状態を作り出します。

それだけに大きな要素を持った人ですので、海外において独自の境地を開いていくことも成功者となるでしょう。

また決まりきった安定の中から飛び出して、新規分野、新たなチャレンジに入っていくと、大きく資質が開花していきます。

進む分野は、精神的な世界・芸術の世界が良いでしょう。

40 癸卯 ◆ 性格 ◆

性格は、陰気と言える程暗くはありませんが、あまり派手な世界を好まず、地道な生活を望むようになります。

日常の生活を大切にし、家族との精神的な会話を好み、情操的にのんびりした気持ちで暮らすでしょう。

とても穏やかな人となりとなっていきます。

性格が反映されたものを身に付けるので、派手な衣装は好みませんが、人からはセンスの良い御洒落な人に見られるでしょう。

人生は安定的で波乱が少ないのですが、女性の場合はやや我が子に対する思い入れが激しくなる傾向があります。

そのため、配偶者である夫に対して手を抜くことが多くなります。

40 癸卯 ◇ 生き方 ◇

生き方は、男女共に平穏な生き方となります。

男女共に自己の役割をしっかりと認識し、着実に現実を進んでいきます。

平凡な生き方の中に、長男・長女的な役割や責任を果たしていくことが生き方の安定にも繋がっていきます。